

第 10 章 特別活動

第 1 目標，評価の内容及びその趣旨等

1 目標

望ましい集団活動を通して，心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに，集団の一員としての自覚を深め，協力してよりよい生活を築こうとする自主的，実践的な態度を育てる。

2 評価の内容及びその趣旨

内 容	趣 旨
学 級 活 動	話し合いや係の活動などを進んで行き，学級生活の向上やよりよい生活を目指し，諸問題の解決に努めている。
児 童 会 活 動	委員会の活動を進んで行ったり集会に進んで参加したりして，学校生活の向上や他のためを考え，自己の役割を果たしている。
ク ラ ブ 活 動	自己の興味・関心を意欲的に追求し，他と協力して課題に向けて創意工夫して取り組んでいる。
学 校 行 事	全校や学年の一員としての自覚をもち，集団における自己の役割を考え，望ましい行動をしている。

3 内容のまとめりごとの評価規準の設定

特別活動においては，学習指導要領の内容の「A 学級活動」の(1)，(2)，「B 児童会活動」，「C クラブ活動」，「D 学校行事」の(1)，(2)，(3)，(4)，(5)を内容のまとめりとして，「関心・意欲・態度」，「思考・判断」，「技能・表現」，「知識・理解」の四つの評価の観点を受け，それらごとに評価規準を作成した。

第 2 内容のまとめりごとの評価規準

1 「A 学級活動」

【学習指導要領の内容】

学級活動においては，学級を単位として，学級や学校の生活の充実と向上を図り，健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。

(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること。

学級や学校における生活上の諸問題の解決，学級内の組織づくりや仕事の分担処理など

(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること。

希望や目標をもって生きる態度の形成，基本的な生活習慣の形成，望ましい人間関係の育成，学校図書館の利用，心身ともに健康で安全な生活態度の形成，学校給食と望ましい食習慣の形成など

【学級活動(1)「学級や学校の生活の充実と向上に関すること」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・学級や学校の生活の充実と向上を目指して，学級内の組織づくりや仕事の分担処理など，身の回りの諸問題に関心をもち，友達と協力して意欲的に取り組もうとしている。	・学級の一員としての自覚をもち，友達と協力しながら，学級や学校の生活の充実と向上を目指して諸問題の解決について考え，判断している。	・話し合いの活動などにおいて，自分の考えを発表し，友達の考えと比較したり，役割を分担したりして活動することができる。	・話し合いの活動や係・集会などの実践を通して，学級内の組織づくりや生活上の諸問題の解決方法を理解している。

【学級活動(2)「日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・生活や学習への適応及び健全な生活態度を身に付けるために、自己のよりよい生活を目指そうとしている。	・生活や学習への適応及び健全な生活を目指して、自己の課題を見出し、よりよい改善の方法を考え、判断している。	・生活や学習への適応及び健全な生活を目指して、自己の立てた目標等に基づき、よりよい方法で実践することができる。	・生活や学習への適応及び健全な生活を送ることの大切さや実践方法などを理解している。

2「B 児童会活動」

【学習指導要領の内容】

児童会活動においては、学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上のために諸問題を話し合い、協力してその解決を図る活動を行うこと。

【児童会活動の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・学校の一員としての自覚をもち、友達と協力しながら学校生活の充実と向上を目指して、問題解決に取り組もうとしている。	・全校的な立場に立って児童会活動の充実と向上を目指し、諸問題の望ましい解決を考え、自己の役割を考え、判断している。	・学校生活の充実と向上を目指し、委員会活動や集会活動などの集団活動を進めるために必要な技能を身に付け、それを生かしたり工夫したりしながら表現することができる。	・児童会活動を充実するための代表委員会や委員会活動、集会活動の役割やそれらの集団活動を進める基礎的事項を理解している。

3「C クラブ活動」

【学習指導要領の内容】

クラブ活動においては、学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、共通の興味・関心を追求する活動を行うこと。

【クラブ活動の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・自らの興味・関心に基づいた課題を設定し、友達と協力しながら意欲的に活動に取り組もうとしている。	・友達と協力しながら、よりよい活動とするために、創意工夫して活動内容や活動方法について考え、判断している。	・共通の興味・関心を追求する活動を行うため、活動計画を立案し、実践するために必要な技能を生かしながら表現することができる。	・自らの興味・関心に基づいた活動の計画や実践方法など、クラブの集団活動の進め方に関する基礎的な事項を理解している。

4「D 学校行事」

【学習指導要領の内容】

学校行事においては、全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。

(1) 儀式的行事

学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。

(2) 学芸的行事

平素の学習活動の成果を総合的に生かし，その向上の意欲を一層高めるような活動を行うこと。

(3) 健康安全・体育的行事

心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め，安全な行動や規律ある集団行動の体得，運動に親しむ態度の育成，責任感や連帯感の涵養，体力の向上などに資するような活動を行うこと。

(4) 遠足・集団宿泊的行事

平素と異なる生活環境にあって，見聞を広め，自然や文化などに親しむとともに，集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。

(5) 勤労生産・奉仕的行事

勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに，ボランティア活動など社会奉仕の精神を涵養する体験が得られるような活動を行うこと。

【学校行事(1)「儀式的行事」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・互いに祝い合い，励まし合って喜びを共にし，厳肅な気持ちで新たな生活への希望や意欲をもって活動しようとしている。	・行事の意義やねらいを踏まえ，新しい生活に向けて，自分の在り方や集団での規律などについて考え，判断している。	・厳かな機会を通し，集団への所属感を深め，気品のある態度で参加することができる。	・行事の意義やねらいを理解し，場や雰囲気に応じた厳肅で清新な気持ちをもって参加する活動の仕方を理解している。

【学校行事(2)「学芸的行事」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・平素の学習の成果を総合的に生かすために，自己の成長を振り返り，自己を伸ばそうとする意欲をもって活動しようとしている。	・学校生活を楽しく豊かなものにするために，よりよいものを創り出す方法や美しいものや優れたものを鑑賞する方法などについて考え，判断している。	・平素の学習の成果を工夫して表現し，互いに努力を認め合いながら，協力してよりよいものを創り上げたり，鑑賞したりすることができる。	・行事のめあてや進行に関する約束，役割を理解し，自分のめあてを達成するための活動方法や発表の仕方などを理解している。

【学校行事(3)「健康安全・体育的行事」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・自己の発育や健康状態，安全な行動について関心をもち，心身の健康の保持増進を図り，運動に親しみ体力を向上するとともに，安全な生活に努めようとしている。	・心身ともに健全な生活の実践に必要な習慣や安全な生活を送るために必要な行動の在り方，体力の向上について考え，判断している。	・自己の発育や健康状態に関心をもち，安全な行動や規律ある集団活動の仕方を身に付け，責任感や連帯感を深める活動ができる。	・心身の健康の保持増進に努め，安全な生活に対する理解や行動の仕方，運動に親しむ楽しみ方などを理解している。

【学校行事(4)「遠足・集団宿泊の行事」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・平素と異なる生活環境の中で、自然や文化に触れながら、学習活動の充実発展を図るとともに互いを思いやり、共に協力して集団生活を送ろうとしている。	・校外における集団活動を通して、学習活動を充実させる方法を考え、望ましい集団生活の在り方について考え、判断している。	・学校での学習を発展させるとともに、教師と児童、児童相互の触れ合いを深め、基本的な生活習慣や公衆道徳などを身に付けるような活動ができる。	・豊かな自然や文化に触れ、見聞を広げる方法などがわかり、学習を充実発展させ、基本的な生活習慣や公衆道徳を理解し、望ましい集団活動の在り方を理解している。

【学校行事(5)「勤労生産・奉仕的行事」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・勤労の尊さや生産の喜びを得るように、勤労生産やボランティア活動などを通して、自らを豊かにし、進んで他に奉仕しようとしている。	・勤労生産やボランティア精神を養う体験的な活動を経験しながら、勤労の価値や必要性、社会奉仕について考え、判断している。	・勤労の尊さや生産の喜びを体得しながら、ボランティア活動など社会奉仕の精神をもとにした行動の在り方を身に付けるような活動ができる。	・学校内外の生活の中で、勤労生産やボランティア活動など社会奉仕の意義を理解し、具体的な活動の仕方を理解している。